

昭和52年度 和歌山県文化賞

みず た かつ み
水 田 勝 美

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治44年

◎業績及び経歴

昭和11年東京音楽学校甲種師範課卒業、その間奥田良三氏・ヘルマン・ヴハーペンニヒ氏に声楽を学び声楽の研究と音楽教育に専念、昭和39年和歌山大学学芸学部教授となり本年4月退職と同時に名誉教授、現在帝国学園女子短期大学部教授である。

氏の演奏活動は紹介しきれないが、昭和22年母校でのシューベルト「冬の旅」・同40年県立医大でベートーヴェン歌曲の夕・そして50年県民文化会館での現代イタリー歌曲の夕が主なものである。そのほか、放送関係にも度々出演し、トスティ歌曲集などを独唱している。

また、音楽普及のための講演会や日赤募金事業協力の演奏旅行のほか、日本教育音楽協会和歌山県支部長・和歌山県合唱連盟理事長・毎日放送子供音楽コンクール常任審査員などを歴任し、昭和47年からは、ベートーヴェン第9交響曲歓喜の合唱を歌う会和歌山県第9の会々長の職にありいまでもクラシック音楽界の後進の指導とともに第一線で活躍している。